

敦賀商工会議所
LINE公式アカウントが
できました！

この度、敦賀商工会議所の公式アカウントができました。事業所の皆様に役立つ様々な情報を発信していきますので、ぜひご登録をお願い致します。

詳細につきましては、当会報に同封しておりま
す折込チラシを
ご確認ください。



Go To Eatキャンペーン および
ふく割「マスク会食割」の
販売再開

福井県の「感染拡大特別警報」が「感染拡大警報」へ引き下げられたことにより、Go To Eat キャンペーンおよびふく割「マスク会食割」の販売が再開されました。是非ご利用ください。



マイナンバーカード
取得促進キャンペーン

福井県では、マイナンバーカードを新規に取得される福井県民を対象に、県産品を特典として進呈するキャンペーンを実施しております。この機会に是非お申し込みください。



外国人を雇用する
事業主の皆様へ

不法就労は法律で禁止されています。不法就労した外国人だけでなく、不法就労させた事業主も処罰の対象となります。在留カードを確認することで、所持する外国人が就労できるかどうか判断できるため、QRコードの資料を参考に、外国人に不法就労をさせないよう注意してください。



敦賀警察署

TEL 0770-250110

両立支援コーディネーター
基礎研修と助成金のお知らせ

これから社員の治療と仕事の両立支援に取り組む企業が「両立支援コーディネーター」の配置など一定要件を満たすと助成金（一律20万円）支給の対象となります。

両立支援コーディネーター養成研修はオンラインで、無料で受講可能です。

助成金詳細は会報誌同封のリーフレットをご覧ください。また、個別訪問にてご説明も行っております。お気軽にお問い合わせください。



【お問合先】独立行政法人労働者健康安全機構
福井産業保健総合支援センター

TEL 0776-276395

第6回 渋沢栄一コラム

現在放送中の大河ドラマ「青天を衝け」の主人公である渋沢栄一は、商工会議所の設立に関わり、商工業の発展に寄与されました。そんな渋沢栄一についてのコラムを連載します。

渋沢栄一とその思想に学ぶ
「渋沢栄一の気骨」

最近、ビジネスの世界では「Grit（グリット）」という言葉が言われるようになりました。「やり抜く力」と訳されたりしますが、筆者は「気骨」という訳語が一番ぴったりくると感じています。

この「気骨」を誰よりも持っていた偉人が渋沢栄一でした。

明治時代に三井物産を創業した益田孝という大実業家がいま

す。彼は、渋沢栄一をこんな風に評しました。

《実に親切な人で、一旦世話をすればどこまでも世話をする》《渋沢さんという人は、何か困難なことが起こると、例の上州気風を出してあくまでやる。それに徳望が伴うものだから、どんな困難なことでもやり遂げる。これだけでなくはいけないと思った》（『自叙益田孝翁伝』長井実編 中公文庫）

渋沢栄一の出身地・深谷は正確には武蔵国なので、上州（上野国）気風とはいえないのですが、まさに「やり抜く人・渋沢栄一」を指摘しているわけです。

そんな益田孝が、高峰譲吉（今の第一三共の創業者）から「日本の農業の近代化には人造肥料が必要だ」と説得され、彼を渋沢栄一に紹介したことがあります。彼らは、他の財界人も誘って東京人造肥料（今の日産化学）を設立しました。

ところが、原料の硫酸が高くてついたり、営業政策の失敗がたた

り、なかなか黒字になりません。

しかも、明治26年に工場から火災が起り、すっかり焼けてしまいます。赤字続きで、しかも工場の焼失——一緒に立ち上げた財界人が手を引くなか、渋沢栄一は一人、

「この会社は、日本の農業の近代化にぜひとも必要なものだから、自分がすべて一人で引き受けてやる」

と宣言、創業六年目にしてようやく黒字化にこぎつけるのです。このときのことを、益田孝は次のように述懐しています。

《火事で工場が焼けてしまった。株主はぶうぶう言う。普通ならこれでおしまいなのであるが、渋沢さんの非常な努力で、再興することができた》（『自叙益田孝翁伝』）

こうした「やり抜く力」や「気骨」は、言葉を換えれば「胆力」とも関わってきます。逆境やピンチのときに、心身ともにすぐにダメになって、病氣や引きこもりになってしまうのではなく、それを強い気持ちではね返していく——今のわれわれにまさに必要な力なのかもしれません。

作家／グロービス経営大学院客員教授 守屋 淳

◇守屋 淳／もりや・あつし

1965年生まれ。早稲田大学第一文学部卒業。現在は作家として『孫子』『論語』『韓非子』などの中国古典や、近代の実業家の著作を刊行するかわら、グロービス経営大学院で教鞭をとる。著訳書に『現代語訳 論語と算盤』や『現代語訳 渋沢栄一自伝』、シリーズで『最高の戦略教科書 孫子』『マンガ 最高の戦略教科書 孫子』などがある。